

1.長期成長ビジョン

「宇宙と自然の恵み・力・循環」を活かし、持続可能な未来の食文化を創造することを目指します。
「環境負荷を抑えながら、安心・安全で美味しい食を世界へ届ける」使命を実践します。

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

「食を通じて、未来の地球と人を守る」

- 自社ブランド(CosmoSpark)商品を通じて、SPICEの様に、なくてはならない会社となって、社会に貢献します。
- (フードロス削減) × (持続可能な農業) × (環境負荷ゼロ) の製造技術を融合し、次世代の食文化を創出します。
- 伝統 × 最先端技術を融合し、「美味しさ・安全・持続可能性」を追求します。
- 世界的な食糧問題への対応と持続可能な食文化のリーダーシップを確立します。
- Nature Future ブランドの海外進出を通じた持続可能な食品市場を形成し、拡大します。
- 直販施設(CosmoSpark(KOUBAIBU))を通じた地域と世界の食産業との架け橋の構築を行います。

Keep Fresh - 宇宙・自然の力で活かす
・独自の保存技術「Keep Fresh」で、添加物なしで食品の鮮度を長期間維持
・発酵熟成技術(PROTARE)を活かし、食材の旨味と栄養価を最大化
・常温で長期間保存可能な次世代食品の開発を推進

Nature Future - 宇宙・自然の恵みを活かす
・独自のフリーズドライ技術による栄養/美味しさを保証した食品開発
⇒添加物を極力排除し、純粹で自然な食体験を提供
・自立農場(Nature Future Farm)との連携
⇒オーガニック農産物を活用し、全活循環農法を推進

3つの理念

Calienta Cycle - 宇宙・自然の循環で活かす
・Nature Future Farmの全活循環農法による自然調和型生産
・食品生産で廃棄されるものも発酵技術で付加価値を持たせ、循環させる
・環境負荷ゼロの持続可能な食の未来を実現する「Calienta Cycle」システムの確立

会社全体の売上成長目標（～2030年）

- 売上高増加額3,706百万円
- 売上高 年平均成長率 10.02%

外発的動機

- 持続可能な食品の需要増加：環境意識の高まりにより市場拡大。
- 健康志向の高まり

⇒無添加・発酵食品への関心増。

- 食品業界も、限られた資源を循環させていく必要がある。
- 世界情勢や気候変動による原材料供給の不安定化

⇒持続可能な食料供給システムの確立の必要性

- 人口減少に伴う国内市場の縮小と採用/雇用問題。
- アジア(海外)市場の急拡大。(インド/東南アジアの人口増、日本ブランド、円安)
- 日本は、低い食料自給率にもかかわらずプライスマーカーでなくなる。

内発的動機

- フリーズドライ食品の市場拡大と国際展開へ始動
- 自動化の推進、DX化、AI導入による環境改善と人手不足解消
- 保存(Keep Fresh)技術を活用した低酸化食品の開発と設備補強
- 食品前処理製造の自動化・効率化(洗浄、皮剥、発酵、抽出)
- 直販施設(CosmoSpark (KOUBAIBU))を通じたバーチャルとリアルの両面での地域連携強化
- 新型真空凍結乾燥機(New SF)の導入とレイアウト改良による生産性の向上
- 持続可能なフードシステムのためのエネルギー効率化施策
- 自社ブランド(Nature Future)の海外市場展開(北米・アジア・欧州)とパートナーシップ構築
- 新型自社製FD機の開発、海外工場展開と現地生産の確立

私たちは、「宇宙と自然の恵み・力・循環」を活かし、世界の食の未来になくてはならない存在になるべく、これらの技術と理念を実現していきます。

2.補助事業の概要

- ・海外でのRTE食品市場の伸長が望める中で、事業を拡大していくために、RTE商品生産に特化した設備導入及び製品倉庫の拡充を実施する。
- ・手作業を機械に置き換え省力化することで、従業員の労働負荷軽減、作業効率の向上、ランニングコスト軽減を実現し賃上げを実施する。
- ・海外市场に対応した設備の増強。(認証取得)

補助事業の背景・目的

- ・マーケットの成長トレンドが見込める中、自社ブランドを中心としたRTE商品の事業の拡大。
- ・既存設備での、生産体制での製造量の限界。
- ・人手不足解消と、従業員の満足度向上と定着のためには、持続的な賃上げの実施が必要不可欠。
- ・食を通じて地域になくてはならない企業になる。(地域雇用、地域食材の仕入れ、安全な商品作り)
- ・自動化/省力化を実施することで、労働負荷軽減、生産効率・収益性向上を実現。
- ・見える倉庫で、地域貢献 直販アンテナショップの礎に。
- ・海外市场に対応した設備の増強(認証取得)。

事業費
(補助額)1,684百万円
(392百万円)

設備投資の内容

<建屋改修 耐震工事>

- ・製品倉庫拡充⇒外部倉庫費用の軽減、作業導線の最適化。
- ・RTE製品出荷場の新設⇒直販業務の内製化を実現。

<製造設備増設>

- ・真空凍結乾燥機増設⇒製造能力40%増。
- ・CO2冷媒使用の冷凍/冷蔵庫更新⇒ランニングコスト30%減。

<製造機器/システム更新>

- ・直販自動倉庫⇒省力化、見える倉庫の実現。
- ・半自動搬送台車⇒人員での搬送作業負荷を軽減し、人員数半減。
- ・包装不良検査機(カメラ)⇒目視検査の人員を削減。
- ・生産管理システム更新⇒管理業務のDX化を実現、脱属人化。

上記投資の実現により、大幅な省人化、省力化が可能になる。



目標値

項目	基準年度	事業化報告3年目
労働生産性 (単位：千円/人)	11,310	14,984 (年平均上昇率+9.8%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：千円/人)	6,042	7,847 (年平均上昇率+9.1%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：千円/人)	-	- (年平均上昇率+4.5%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	159	164